

教科目名 国語総合（General Japanese）

学科名・学年：全学科 1 年

単位数など：必修 2 単位（前期 1 コマ，後期 1 コマ，授業時間 46.5 時間）

担当教員：相本正吾

授業の概要			
・現代文（評論文・随想・小説・現代詩・短歌・俳句）及び古文・漢文を読み、その読解・鑑賞・内容に関する文章作成や意見交換を行う。また、日本語表現力の向上に向けて「表現編」として、作文や、発表・討議も行う。 ・漢字練習帳の分を試験範囲とした「漢字の小テスト」を二～三週間ごとに行い、漢字・語句の力を身につける。 ・年二回、授業で文学作品や文章の創作を行う「創作大会」を実施する。			
達成目標と評価方法			大分高専目標(C1)
(1) 現代文（評論文・随筆・小説・詩・短歌・俳句・川柳）に親しみ、読解や鑑賞の基礎を身につける。（定期考査，提出課題） (2) 古文・漢文・漢詩の読解の基礎力を身につける。（定期考査，小テスト） (3) 文章の内容や箇所についての問いに対して的確に文章にまとめる作文力や発表力を身につける。（課題ノート，提出課題，発表） (4) 常用漢字・慣用語・四字熟語・文芸用語・評論文用語の力をつける。（定期考査，「漢字の小テスト」「小テスト」）			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	現代文(1)	随想(1)の読解。 ※、冒頭でガイダンスを行う。	【理解の度合い】
2	現代文(2)	小説(1)の読解。 近現代日本の主な作家(1)。	
3	現代文(3)	〃 文芸用語(1)。	
4	表現(1)	表現の実践(1) — 表現とは何か。	
5	現代文(4)	詩の読解・鑑賞。 近現代日本の主な詩人(1)。	
6	現代文(5)	評論文(1)の読解。 評論文用語(1)。	
7	表現(2)	表現の実践(2) — スピーチをする。	
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	中間試験の解答と解説 現代文(6)	短歌・俳句の読解・鑑賞。 主な季語。	【理解の度合い】
10	古文(1)	随筆を読む。 古文を読む基礎事項、文法事項の確認(1)。	
11	古文(2)	説話を読む。 日本古典文学史(1)。	
12	表現(3)	創作大会(第一回)を行う。	
13	漢文(1)	故事を読む。 漢文を読む基礎事項の確認(1)。	
14	漢文(2)	唐詩を読む。 漢詩の基礎事項の確認。	
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	期末試験の解答と解説		
16	現代文(7)	随想(2)の読解。	【理解の度合い】
17	現代文(8)	小説(2)の読解。 文芸用語(2)。	
18	現代文(9)	〃 。	
19	表現(4)	表現の実践(3) — 招待状・礼状を書く。	
20	現代文(10)	評論文(2)の読解。 評論文用語(2)。	
21	現代文(11)	詩の読解・鑑賞。	
22	表現(5)	表現の実践(4) — コピーを作る。	
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	中間試験の解答と解説 現代文(12)	短歌・俳句・川柳の読解・鑑賞。 近現代日本の主な歌人・俳人。	【理解の度合い】
25	古文(3)	詩歌を読む。 古文を読む基礎事項の確認(2)。	
26	古文(4)	物語を読む。 日本古典文学史(2)。	
27	表現(6)	創作大会(第二回)を行う。	
28	漢文(3)	『論語』を読む。 漢文を読む基礎事項の確認(2)。	
29	漢文(4)	史話を読む。	
30	後期期末試験		【試験の点数】 点
	期末試験の解答と解説		
履 修 上 の 注 意		授業で用いた種々のプリントは考査の範囲に入れることもあるので、保管しておくこと。	【総合達成度】
教 科 書		『国語総合』（桐原書店）、課題ノート『演習ノート』（〃） 『パーフェクト 常用漢字』（第一学習社）	
参 考 図 書		『新総合図説国語』（東京書籍）	
自学上の注意		課題ノートやプリントを用いて授業の予習復習を心掛けること。	
関 連 科 目		国語総合(2年)、現代文(3年)	
総 合 評 価		総合評価＝4回の考査の平均点×0.7＋課題点(30点満点)。総合評価が60点以上を合格とする。対象者に対して再試験は行う。	【総合評価】 点